

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科					コース名	動物看護コース			
科目名	動物薬理学					必修・選択必修の別			必修	
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	30	時間
	2年	前期	-	時間	後期	-	時間			
	3年	前期	15	時間	後期	15	時間			
担当講師	小山 佳容子									
	実務経験	有	大井競馬場1年半・動物病院10年間で、必要な薬の知識を身につけ、それを生かしている							
授業概要	薬理学とは何かという事から学び、薬の必要な知識について学び、動物看護において、薬の知識を活かせるような基礎と応用について学ぶ。							授業形式	講義	
到達目標	臨床現場で動物薬理学の知識を活かして、的確な対応が出来るようにする。									
教科書・教材・ 服装等	コンパニオン・アニマルのファーストステップ薬理学									
授業計画時間数	授業内容									
1	鎮静薬、抗痙攣薬									
2	問題行動の治療薬									
3	呼吸興奮薬、鎮咳薬									
4	抗喘息薬（気管支拡張薬）									
5	血管拡張薬①									
6	血管拡張薬②									
7	心不全治療薬									
8	抗不整脈薬									
9	利尿薬									
10	抗利尿薬									
11	制吐薬、催吐薬									
12	抗潰瘍薬									
13	消化管運動促進									
14	前期試験									
15	テスト返却									
16	止瀉（制瀉薬）									
17	瀉下薬（緩下薬、下剤）									
18	肝・脾疾患の治療薬									
19	オータコイド									
20	抗炎症薬									
21	糖尿病治療薬									
22	甲状腺機能障害、脂質・骨代謝異常の治療薬									
23	貧血の発生機序と抗貧血薬									
24	血液凝固阻害薬、血液凝固促進薬									
25	免疫系に作用する薬									
26	化学療法薬 抗腫瘍薬									
27	化学療法薬 抗菌薬、抗真菌薬									
28	化学療法薬 駆虫薬、抗原虫薬									

29	後期試験			
30	後期試験返却・答え合わせ			
成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・授業内テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない
成績評価基準	A評価	出席率100％・小テスト80％・平常点 優れている		
	B評価	出席率99～90％以上・小テスト70％以上・平常点 普通		
	C評価	出席率89～80％以上・小テスト 6 0 ％以上・平常点 やや劣る		
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合		